



# OCCITANIA / Pyrenees-Mediterranean

オクシタニー ピレネー・メディテラネ地方



プレス資料

## 大自然に遊ぶ

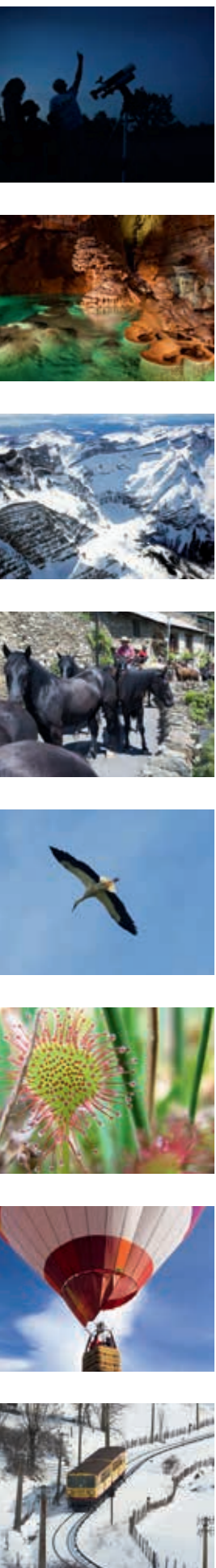




# 目次

公園の紹介 > P.6~7

驚異に彩られた大自然 > P.8~11



# オクシタニー

観光にまつわる**数字**のあれこれ

**4位**  
フランス地方別  
観光セクター規模



**140億**  
観光消費額 (ユーロ)



**120,000**  
観光セクター雇用



**10%**  
地方GDPに占める割合

**1位**  
フランス地方別  
観光セクター収容力



**330万**  
ベッド数



**2,400万弱**  
キャンプ場等野外施設  
における宿泊数  
(国内第1位)



**1,570万**  
ホテル等屋内施設  
における宿泊数  
(国内第4位)

**1位** フランス人観光客数

**3位** 外国人観光客数

**3千万**  
年間観光客数

外国人観光客の  
おもな内訳:  
ヨーロッパ:  
オランダ、ドイツ、  
ベルギー、イギリス  
ヨーロッパ以外:  
アメリカ、カナダ、  
日本、中国



**1位**  
フランス国内  
温泉旅行先



約**166,000**  
旅行者数



**30**  
温泉リゾート施設数



**1/3弱**  
国内総施設数に  
占める割合

# 発見に満ちた大自然

手厚く保護された広大な自然公園はオクシタニー地方で特別な地位を占めています。当地方が抱える2つの国立公園と6つの地方公園を合わせた面積は全体の1/3超。いずれも大地と人間と自然とを結ぶ緊密な繋がりを示すものです。



Cirque de Navacelles



Cirque de Gavarnie



Causse du Quercy



Pyrénées ariégeoises



Lac des Bouillouses



Gorges du Tarn

## フランスの10の国立公園のうち2つがここオクシタニー地方に

国立公園はその極めて豊かな自然と文化を理由に選定された自然保護区で、フランスの生物多様性を守り、未来の世代に伝えていくに重要な役割を果たしています。

保護活動地区として、さらには国内および国際的な取り組みを行う科学研究の拠り所として、そこでは毎年100万を超える自然データが収集されており、自然に関する知見を深める場ともなっています。

## 2つの国立公園

### → セヴェンヌ国立公園

#### PARC NATIONAL DES CÉVENNES

フランス本土内第1位の面積を持ち、国立公園の中では唯一、中標高の山に位置します。1985年に生物圏保護区として、2011年には「コースとセヴェンヌの地中海農牧業の文化的景観」の名称のもと世界遺産として、UNESCOより2度の認定を受けた当公園は、その中心部で多くの人が居住している点でも異彩を放っています。中央山塊の南にある中山地帯にあり、地理的に異なる4つの区域(エグアル山塊、タルン峡谷とジョント峡谷があるコース・メジャン、ロゼール山、セヴノル渓谷)から構成され、人がつくった景観(段々畑、牧草地、片岩家屋)と、動植物とそれらが生息する自然環境の豊かさで人々を魅了しています。

ロゼール県、ガール県、アルデシュ県

セヴェンヌ国立公園内には「ナチュラ 2000」を構成する28のサイトが含まれています。

[www.cevennes-parcnational.fr](http://www.cevennes-parcnational.fr)

### → ピレネー国立公園

#### PARC NATIONAL DES PYRÉNÉES

ピレネー山脈の魅力が詰まったピレネー国立公園は100kmにわたって広がり、スペインとの国境沿いに6つの渓谷、3,000m級の山々(ヴィニユマル山、タイヨン山、カスク山など)、比類のない名所の数々(ピック・デュ・ミディなど)を抱えています。公園の誕生は1967年で、フランスの国立公園の中でもっとも古い歴史を誇ります。また、大西洋と地中海に挟まれ、双方の気候の影響を受けるその独特の環境ははぐくむ動植物の多様性から、フランスでもっとも自然豊かな公園の一つに数えられています。さらに、自然の壮大な建造物ともいえるガヴァルニー圏谷、トルムズ圏谷、エストベ圏谷は、UNESCOより「ピレネー山脈のベルデュ山」の名称で1997年、自然遺産と文化遺産を合わせ持つ複合遺産に登録されました。

オート・ピレネー県、ピレネー・アトランティック県

[www.pyrenees-parcnational.fr](http://www.pyrenees-parcnational.fr)

## 6つの地方公園

### → コース・デュ・ケルシー地方自然公園

#### PARC NATUREL RÉGIONAL DES CAUSSES DU QUERCY

UNESCOの世界ジオパークに登録されている当公園は、とくにリン鉱石をはじめとする地質的遺産の特異性と、かの有名な「プラージュ・オ・プテロサウルス(翼竜の砂地)」と翼竜の足跡(!)でつとに有名です。古生物の豊富な痕跡と断崖や峡谷が作り出す峻厳な地形という世界的にも珍しい特徴を備えたこの公園は、ロット県を北から南へ幅広いの帯となって伸び、その内部をロット川とセレ川が流れています。また、「コース」と呼ばれる石灰岩台地の内部をめぐる地下水によって、複雑な地形が作り出されています。

ロット県

[www.parc-causses-du-quercy.fr](http://www.parc-causses-du-quercy.fr)

### → オー・ラングドック地方自然公園

#### PARC NATUREL RÉGIONAL DU HAUT-LANGUEDOC

起伏に富んだこの公園には分水線が走っており、それを境に一方は地中海へ、他方は大西洋へと水が自然に分岐しています。さらに、地中海と大西洋の気候の影響を強く受けた景観を呈しており、ミネルヴォワ地区はブドウ畑が連なる丘、シドブル地区は花崗岩の不思議な巨石群、カルー地区は高山の自然環境によって特徴づけられています。

エロー県、タルン県

[www.parc-haut-languedoc.fr](http://www.parc-haut-languedoc.fr)

### → ピレネー・アリエジョワーズ地方自然公園

#### PARC NATUREL RÉGIONAL DES PYRÉNÉES ARIÉGEOISES

ピレネー山脈の中心部、アリエージュ県とアンドラ公国の境にある当公園は深い谷や聳え立つ峰々から成り、モン・ヴァリエ、モンカルム、ピック・DESTAなど標高3,000m級の山々を抱えています。当公園では動植物保護、建築遺産の修復、景観保全、地域の技術や産物のプロモーション、持続可能なツーリズムに関わるさまざまな活動が実施されています。

アリエージュ県

[www.parc-pyrenees-ariegeoises.fr](http://www.parc-pyrenees-ariegeoises.fr)

### → ナルボンヌ地方自然公園

#### PARC NATUREL RÉGIONAL DE LA NARBONNAISE

当公園はフランスで非常に有名な渡り鳥の飛来地で、コルビエールからナルボンヌ、そしてグリュイサン、ポール・ラ・ヌーヴェル、ルカートの砂浜までオート県東部全域に広がっています。公園内には50種を超える自然環境(灌木地帯、アレブ松やセイヨウヒイラギガシの森、沼沢地、葦沼、砂丘、砂浜に広がる塩生植物の群生地など)が共存し、地中海沿岸部にあるこの公園はその規模と多様性からフランス最後の大規模自然保護サイトの一つに数えられています。

オート県

[www.parc-naturel-narbonnaise.fr](http://www.parc-naturel-narbonnaise.fr)

### → ピレネー・カタラン地方自然公園

#### PARC NATUREL RÉGIONAL DES PYRÉNÉES CATALANES

ピレネー・オリアンタル県とスペインにまたがって広がる当公園はサルターニャ、カプシール、オー・コンフランの各地域をカバーする約140,000ヘクタールの面積を誇り、標高300m~3,000mの山々、尖峰、尾根、高原が織り成すさまざまな風景を見せてくれます。地中海の影響で温和化された山岳気候と公園内の多様な自然環境が数多くの動植物を育てており、保護されている種の数は240を超えます。

ピレネー・オリアンタル県

[www.parc-pyrenees-catalanes.fr](http://www.parc-pyrenees-catalanes.fr)

### → グラン・コース地方自然公園

#### PARC NATUREL RÉGIONAL DES GRANDS CAUSSES

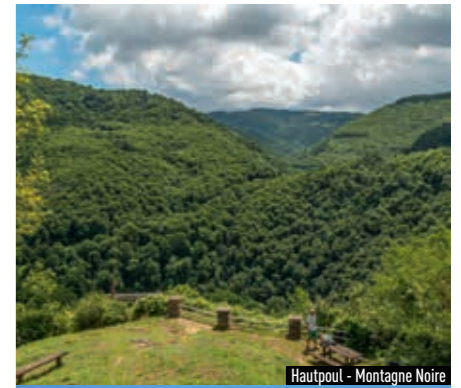
公園内の大半を、ステップ地帯の外観を呈する壮大な石灰岩の台地「コース」が占めています。2011年に「コースとセヴェンヌの地中海農牧業の文化的景観」の名称でUNESCOの世界遺産に登録されたラルザックは、その素晴らしい自然遺産と、そこで営まれている牧畜業の普遍的価値で異彩を放っています。かつてテンプル騎士団が築いた要塞都市(ラ・カヴァルリー、サント・ウラリ・ド・セルノン、ル・ヴィアラ・デュ・バド・ジョー、サン・ジャン・ダルカス、ラ・クーヴェルトワラド)は、中世キリスト教世界の軍事・宗教的団体であった当騎士団の波乱の歴史を今に伝える遺跡の数々です。

アヴェロン県

[www.parc-grands-causses.fr](http://www.parc-grands-causses.fr)

## 国に認定された公園

地方自然公園は景観、建築、自然環境、文化にかかわる優れた遺産を擁する特別な場所で、各公園には保全および持続可能な開発のための計画が定められており、その土台となるのが公園憲章です。公園ごとにそれぞれ異なるこの憲章は、それ一つで公園の12年にわたる将来計画を要約し、自然保護、地域整備、社会・経済発展、観光客の受け入れといった各分野に関する優先事項を規定しています。



Hautpout - Montagne Noire



Étang de Baïges



オクシタニー地方の自然公園に関する詳細は、当地方観光局の下記サイトをご覧ください。

[tourisme-occitanie.com](http://tourisme-occitanie.com)

# 驚異に彩られた大自然



コース・ケルシー地方自然公園は2017年5月、UNESCOの世界ジオパークに認定されました。「ジオパーク」は、貴重な地質遺産を持ち、かつその遺産の活用・保全計画を備えている地域に授けられる認証です。ここでは19世紀末に採掘され、化石鉱床を閉じ込めた巨大な巖ともいべきリン鉱山の全体が対象となっています。

思わず目を見張る、好奇心が掻き立てられる、新しい経験をする——自然公園はまさに野外の実験場。そこでは冒険が、それも本物の冒険が待っています。驚きのサイト、地下の世界、特異な地質がその豊かさと神秘のヴェールを脱ぎ、私たちの心を揺さぶります。

## 公園で夜を過ごす

### →「ケルシーの黒い三角地帯」に身を置く

まさにここ、コース・デュ・ケルシー地方自然公園の上空には人工光の少なさゆえに稀有な空間が広がっています。事実、ここはフランス本土内でもっとも光害が少ない場所で、「ケルシーの黒い三角地帯」と呼ばれています。そのユニークで豊かな自然を保全、紹介しようと、当公園では観測サイトの整備などに積極的に取り組んでいます。すでにリモーニュ・アン・ケルシー、レイアック、

カルリュセの3か所で施設が誕生し、観測機材を所有している愛好家たちが自由に使用できる星座早見盤が整備されました。



## →ピック・デュ・ミディで夜を過ごす

ピレネー国立公園の稀に見る澄み渡った空は、世界的に有名な認証ラベル「国際星空保護区(RICE)」のもとに保護されています。国際ダークスカイ協会が授けるこの称号は、当サイトの清らかな大気と、光害防止および夜空の保護を通じた当公園による星空の価値を高める活動を評価するものです。これまでにRICEの認定を受けた国際星空保護区は全世界で6カ所あり、そのうちフランスで唯一となるサイトがピック・デュ・ミディです。この山を訪れた人は現在、標高2,877mの高所で息を呑む眺望と星空をまぢかにし、19世紀に建造された天文台にある貴重な機材を見学できます。さらに、最新技術のプラネタリウムを鑑賞し、ヨーロッパ標高の高い場所にあるミュージアムに設けられた見学コースも楽しめます。そのほか、天体観測の夕べも開催されています。

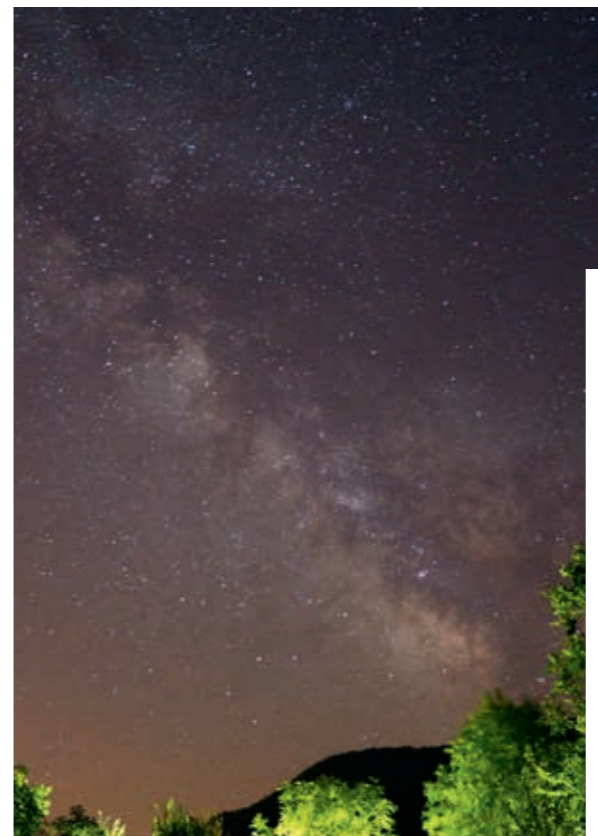
**内容：**ミュージアム見学、山頂にあるレストランでのディナー、ピレネー山脈に沈む夕日と星空の鑑賞  
**何をする？**「ピック・デュ・ミディの星空の夕べ」を通じて、星空観賞のコツを学ぶ。

**いつ？** 4月～10月

**どんな人におすすめ？** ファミリー、星空好き、美しい眺めが好きの人、天文学に造詣の深い人や初心者

**どこに泊まる？** 山頂、つまりヨーロッパ高所にあるホテルに宿泊。たった15室しかないのも、星空の近くで眠り、山の稜線に昇る朝日を目にする特大の幸運に恵まれるのは、ほんの一握りの人だけ。

**詳細：** [picdumidi.com](http://picdumidi.com)



## →魔法の一夜を経験する

澄んだ星空、深々とした静寂、夜の風景の美しさ。それらはセヴェンヌ国立公園で一夜を過ごしてみたいと思わせる三大要素です。当公園は2017年、名誉ある「国際星空保護区」の認定を取得すべく、申請の手続きを行いました。正式認定を待つあいだ、当公園のパートナーであるアジミュト・ヴォワイヤージュ Azimut Voyage 社が美しい星空のもとで一晩を過ごす滞在プラン「セヴェンヌで天文学をAstronomie en Cévennes」を通じて魔法の一夜を約束しています。

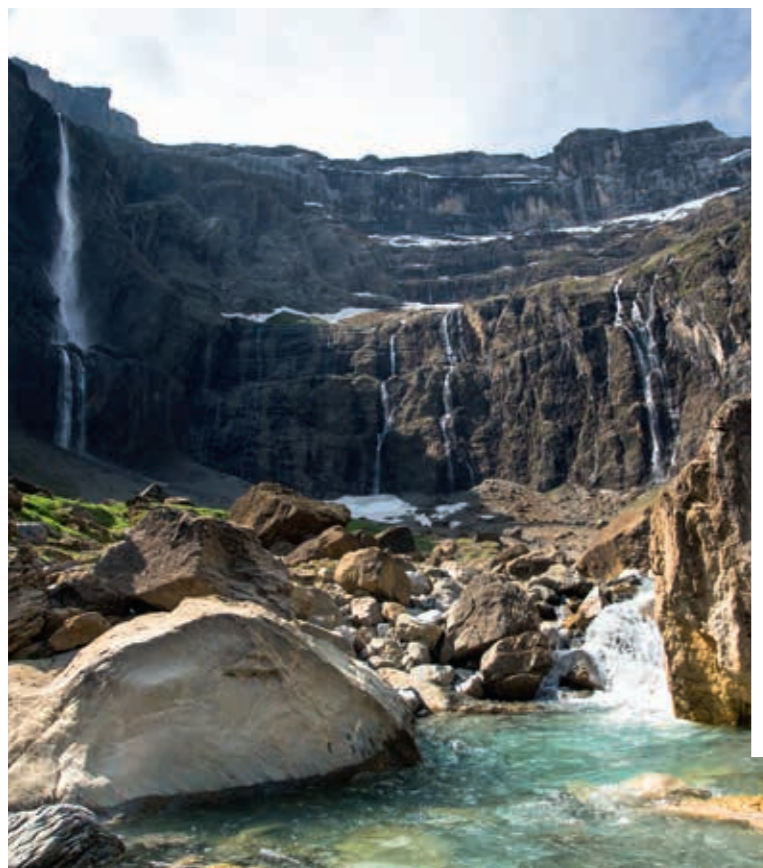
**内容：**ロバと一緒にのトレッキング、野宿しながら宇宙物理学者とともに星空を鑑賞

**何をする？** セヴェンヌの澄み渡る空を堪能する。

**いつ？** 7月

**どんな人におすすめ？** 経験豊富な天体観測愛好家、根っからのキャンプ好き、夜眠れない人

**詳細：** [www.azimut-voyage.fr](http://www.azimut-voyage.fr)



## 見どころ

### → 人類の世界遺産を分かち合う

まさに自然の壮大な建造物ともいべき威容を誇り、1997年にUNESCOの世界遺産に登録されたガヴァルニー／モン・ベルデュ山塊が今、誰でも立ち入ることのできる場所になりました。車の乗り入れが禁じられた道路がタント峠からスペイン国境に位置するポール・ド・ブシャロまで延びており、この道をたどればピレネー国立公園内にあるこの素晴らしい世界自然遺産に簡単にアクセスすることができます。コースの最初の800mにはフランス語とスペイン語の解説パネルが整備されており、当サイトを理解する鍵を与えてくれます。この解説コースを歩くことで、地質学、自然遺産、フランスとスペインの国境を越えた交流の歴史などについて学べます。また、このコースは運動機能、精神、聴覚に障がいを持つ人でも移動できるように整備されており、認証ラベル「ツーリズムとハンディキャップ Tourisme et Handicap」を取得しています。高山(標高2,200m)に設けられたこのコースは、アクセス道路の雪が解ける6～10月の夏期のみオープンしています。

高山(標高2,200m)に設けられたこのコースは、アクセス道路の雪が解ける6～10月の夏期のみオープンしています。



ピレネー国立公園はオール渓谷にあるネウヴィエル国立自然保護区と、シロエリハゲワシが生息するオッソー渓谷国立自然保護区の管理も担っています。



### ピレネー自然写真映像フェスティバル FESTIVAL PYRÉNÉEN DE L'IMAGE NATURE

自然と山を映した写真や映像をテーマに西ピレネーで開催されている当フェスティバルも今年で3回目。展覧会、映画やドキュメンタリーの上映(『狼の谷La Vallée des Loups』、『シャモフの絵を描いて Dessine-moi un chamois』など)、シンポジウム、各種イベントなどが予定されており、アマ、プロ双方の多数の自然写真家が参加します。

毎年9月にコトレで開催  
image-nature-montagne.com



### → ミネルヴォワ地区の秘密に迫る

地中海地方特有の灌木地帯(ガリーグ)と切り立つ峡谷が織り成す石灰石の台地が一面に広がるミネルヴォワ地区(オー・ラングドック地方自然公園)は、自然の至宝であるのと同時に秀逸な建築遺産を抱えています。そのうちの 하나가、中世カタリ派の歴史を色濃く宿しながら岩山の上に誇り高く聳え立つミネルヴ村。異端のカタリ派の要塞として築かれたこの村の激動の歴史を紹介しているのがユルブル博物館で、このユニークな施設では粘土細工の騎士たちとミニチュア模型を使ったジオラマが歴史的シーンのいくつかを再現しています。大掛かりな舞台セットに置かれたようにガリーグの中央に佇むミネルヴ村は、「フランスで最も美しい村」にも指定されています。また、大昔から作られている定評あるワインでも有名です。村がある崖上からは地中海地方を特徴づける景観が広がっており、一帯はEUの保全プログラム「ナチュラ2000」の対象となっています。ミネルヴ村を取り囲む石灰石の台地は5000万年前に海によって形成されました。そこには侵食作用によって長い年月をかけて造り出された峡谷やアーチ状の奇岩が点在し、ガリーグ、ブドウ畑、石垣、考古学遺跡の数々から構成される独特の風景が広がっています。

ミネルヴ村から出発するハイキングコースを歩けば、セイヨウヒイラギガシ、イワナシ、ケードネス、オリーブの木、ツゲ、ローズマリー、ヒトツバエニシダ、ツルボラン、スイカズラ、タイムなどさまざまな植物を観察することができます。またこの地区は、フォーザン(セス峡谷)とトレメナル(ラ・コネット村)という2つの有名なクライミングサイトで人気を集めています。

EUの自然保護区ネットワーク「ナチュラ2000」は、生息する動植物の稀少性または脆弱性を理由に選定された貴重な自然生態系サイトから構成されています。

